



コイちゃん

- 02 小中連携教育・小中一貫教育の4つの取り組み キーワードはJ・S・K・G
- 04 大竹市奨学金返還免除制度／市奨学生募集
- 06 公害の無い都市から人・産業・自然環境が共生する都市へ
- 08 まちを守る消防団
- 10 春季全国火災予防運動／外来診療の窓口負担が限度額までとなります
- 12 国保通信 たばこと肺気腫
- 14 土地開発公社の土地を分譲します
- 16 カメラスケッチ
- 18 みんなで考えよう公共交通
- 20 前期基本計画に示す役割分担／活用しよう、子育て支援サービス／シリーズ
- 22 勤労青少年ホーム
- 24 ジュニアリーダー育成事業活動報告／生涯学習講座
- 26 としょかんだより／情報ステーション
- 35 トピック／広告
- 36 はじめまして／亀居城まつり

## 魅力的な学校づくりに向けて 小中連携教育・小中一貫教育の4つの取り組み

### キーワードはJ・S・K・G

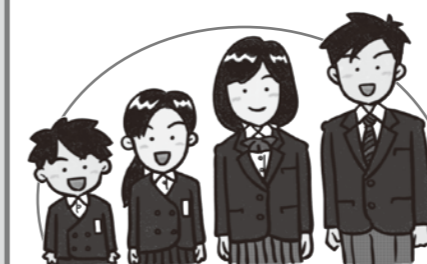
問い合わせ 総務学事課 ☎2185



これまで1月号で、小中一貫教育が目指す3つの目標である「学力の向上」「コミュニケーション能力の育成」「中一ギャップの解消」について、2月号で、小中連携教育・小中一貫教育に関する疑問についてお知らせしてきました。

今回は、子どもが「笑顔で」「元気に」「かがやいて」学校生活を送れるよう、教育委員会が進める具体的な4つの取り組みについて説明します。

目指す3つの目標



学力の向上



コミュニケーション能力の育成



中1ギャップの解消

目標を達成するための  
4つの取り組み



教師の授業力アップ

J:授業づくり

「わかる・できる」喜びを実感できる授業づくり

子どもたちにとって、授業などで「わかった」「できた」といった達成感や満足感を得られる学校が楽しいはず。

そこで、わかる授業を目指して、学力向上や学習態度を育てるプランを作成するなど、教師の授業力アップを図ります。

人間関係力アップ

S:集団づくり

良質の人間関係を築く集団づくり

互いの考えや思いを素直に「伝え合う」ことができ、それにより互いに「信頼しあえる」学校は、いい人間関係が築けている証拠です。

そこで、言葉で伝えあう道徳の授業づくりを推進するなど、子どもたちの人間関係力アップを図ります。

自己肯定感アップ

K:活動づくり

自己存在感がもてる活動づくり

自分の存在感を感じる学校は、「愛されている」「認められている」など、自分を肯定することができると思っています。

そこで挨拶からはじまり、人との話し方や聴き方を身につける「社会的スキル」の育成のほか、中学校区単位で異年齢交流や生徒会活動を進めるなど、自己肯定感のアップを図ります。

学校の魅力アップ

G:学校づくり

信頼して通うことのできる学校体制づくり

信頼して通うことのできる学校とは、「自分の成長が、教師や友達に認められる」ことにより、「自信が持てる」ことだと思っています。

そこで、将来生きていく上で身につけるべき基礎となる資質や能力を育てるための教育を進めます。また、教職員が連携して学校の魅力アップを図ります。